ユニー
環境コミュニケーション
レポート 2023

お客さまと共に
持続可能な社会の実現をめざしています

環境理念

地球規模での環境破壊が深刻化している今日、
脱炭素社会・循環型社会・自然共生社会を実現させた持続可能な社会を構築するために、
ユニーは企業活動を通して貢献します。

持続可能な社会をめざして

現在のことだけではなく未来に向かって地球環境を壊さずに、
人間や地球の生き物が共存していく社会を構築していくこと、
この未来に続く仕組みが持続可能な社会です。

エコストア、ステキな未来へはじめの一歩

お買い物をする際の、ほんのちいさなエコゴコロが地球の未来を救います。
10年後、20年後の地球の未来を快適なものにするために、
ユニーと一緒に地球環境にやさしい生活をはじめてみませんか？

PPIH Pan Pacific International Holdings
APiTA ピアゴ ユーストア
ユニー株式会社
ECO FIRST

環境計画の概要

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

ユニーでは、エコ·ファーストの約束達成のためISO14001マネジメントシステムを活用し、具体的な環境目標を設定しています。持続可能な社会をめざし、企業活動を通して脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会の実現のためお客さまと一緒に「環境にやさしいお買い物」を推進します。

環境方針	2022年度結果(2022年4月1日~2023年3月31日)	評価	2023年度目標(2023年4月1日~2024年3月31日)
環境マネジメントシステムの構築	●環境大臣とのフォローアップは実施されなかった ●エコ·ファーストの約束をISO14001実施計画に組み込み活動した	○	●エコ·ファーストの約束をISO14001実施計画に組み込み活動する
	●エコ·ファーストの約束の達成に向けた取り組みを推進した	○	●エコ·ファーストの約束の達成に向けた取り組みを推進
エコストアの実現	●環境配慮型PB商品「eco!on」の認知及び売上拡大を図った	○	●環境配慮型PB商品eco!onの認知及び売上拡大を図る
	●環境配慮型PB商品「eco!on」のバリューチェーンの環境負荷低減効果を見える化しお客さまに訴求した	○	●環境配慮型PB商品eco!onのバリューチェーンの環境負荷低減効果を見える化しお客さまに訴求する
環境負荷の低減	●環境マネジメントシステムを通して、省エネ教育の継続と強化を行った	○	●環境マネジメントシステムを通して、省エネ教育の継続と強化
	●CO2排出量　原単位で2021年度対比91.2%	○	●省エネの取り組みとしてCO2を原単位で2022年度対比1%削減
	●各使用エネルギーを削減　2021年度対比 電気使用量96.2%　ガス使用量90.3%　重油使用量98.6%	○	●各使用エネルギーを2022年度対比1%削減
	●物流の合理化による環境負荷低減を図った 2021年度対比　輸送距離93.9%　原油換算94.1%	○	●物流の合理化による環境負荷低減を図る
	●段ボールの使用量は測定方法変更により、記録なし	×	●PB商品の容器包装資材の軽減化を図る
	●PB商品の容器包装資材の軽減化を図った PB商品容器包装資材重量　2021年度対比96.1%	○	
	●包装資材重量　2021年度対比比92.15%	○	●レジ袋辞退率　90%
	●レジ袋辞退率　89.7%	×	
廃棄物の適正処理とリサイクル推進	●廃棄物総排出量　2021年度対比89.5%(ダンボールを除く)	○	●廃棄物総排出量2022年度対比3%削減
	●食品リサイクルループの取り組みを全店で継続した	○	●食品リサイクルループの取り組みを全店で継続
	●発生抑制　売上高100万円当り　23.6kg 再生利用等実施率　88.9%	○	●発生抑制　売上高100万円当り　24kg以下 ●再生利用等実施率　90%以上
	●2021年度対比 ペットボトル回収量99.1%　牛乳パック回収量98.4% アルミ缶101.0%　食品トレー97.1%	○	●リサイクル回収量を増やす
	●バイオマスプラ製容器包装の使用を促進した 青果透明カップ約100%含有、青果カットねぎカップ55%	○	●バイオマスプラ製容器包装の使用を促進する
環境情報の開示と環境保全活動	●環境配慮型PB商品eco!onの拡販した　売上2021年度対比108.1%	○	●環境配慮型PB商品eco!onの拡販
	●クリーンキャンペーン全店で年2回実施　参加人数2240人	○	●クリーンキャンペーン全店で年2回実施する
	●従業員への環境教育の継続·強化した	○	●従業員への環境教育の継続·強化
	●子ども環境学習、出張講座(小学校等)の継続実施した 小中学校見学受入れ5,275人　出張講座(小学校等)347人	○	●子ども環境学習、出張講座(小学校等)の継続実施
	●エコ博の開催は無し	×	
	●環境関連事業者(取引先)連絡会セミナーはコロナ禍のため開催なし	×	
環境汚染防止	●排水水質検査全店実施、基準値以内法令遵守 ●低濃度PCBの適正管理を実施	○	●全店舗での排水水質監視を実施 ●低濃度PCBの適正管理
	●フロン排出抑制法の対応をISO目標として法令遵守	○	●フロン排出抑制法の適正対応を実施
	●廃棄物処理法の適正対応を実施した	○	●廃棄物処理法の適正対応を実施

廃棄物を削減する取り組み

循環型社会

全店舗に廃棄物計量システムを導入し、廃棄物の発生抑制やリサイクルを推進しています。

ユニーで発生するゴミ

廃棄物排出量

※データは2017年度は2月21日～翌年2月20日まで、2018年度は2月21日～翌年2月28日まで、2019年度は3月1日～翌年2月29日まで、2020年度以降は4月1日～翌年3月31日までのものです。
※2022年段ボールの計量方法を変更したため、段ボール・紙類小計・合計の前年比は算出をしておりません。 ※2022年紙類の小計・合計には段ボールを含みません。

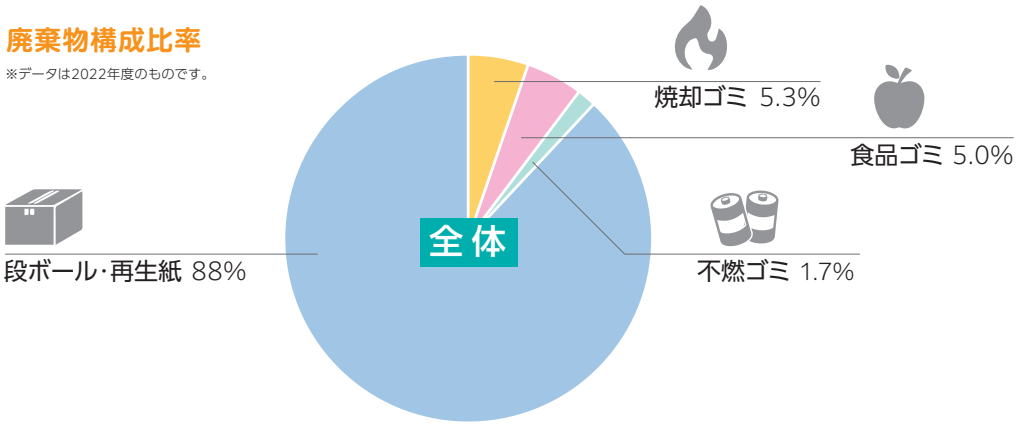
（単位：t）

区分		種　類	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	前年比[%]
可燃ゴミ	焼却ゴミ	一般可燃ゴミ	11,204	10,219	8,012	8,149	7,852	96.4%
		ビニール(食品系)	3,697	3,216	2,625	2,496	2,308	92.5%
		小計	14,901	13,435	10,637	10,645	10,160	95.4%
	食品ゴミ	生ゴミ	11,736	10,508	8,517	8,610	7,598	88.2%
		魚のアラ	1,931	1,694	1,374	1,360	633	46.5%
		てんかす	833	787	652	651	611	93.9%
		廃食用油	1,119	1,019	870	778	687	88.3%
		小計	15,618	14,009	11,413	11,399	9,529	83.6%
不燃ゴミ		発泡スチロール	673	607	544	528	434	82.2%
		プラスチック	394	402	334	322	299	92.9%
		ビニール(衣、住系)	884	802	670	613	552	90.0%
		ビン	1,530	1,387	1,223	1,250	1,098	87.8%
		缶	427	381	321	301	283	94.0%
		ペットボトル	469	418	350	324	319	98.5%
		陶器・ガラス	148	120	106	99	101	102.0%
		金属ゴミ	141	124	104	98	92	93.9%
		その他	102	94	76	67	68	101.5%
		小計	4,768	4,335	3,728	3,602	3,246	90.1%
紙類		段ボール	34,307	30,896	25,057	24,815	167,448	—
		紙類(再生可)	2,283	2,006	1,621	1,490	1,349	90.5%
		小計	36,590	32,902	26,678	26,305	168,797	—
合　計			71,877	64,681	52,456	51,951	191,732	—

※端数を四捨五入処理しているため、合計数値と一致しない場合があります。

廃棄物構成比率

※データは2022年度のものです。

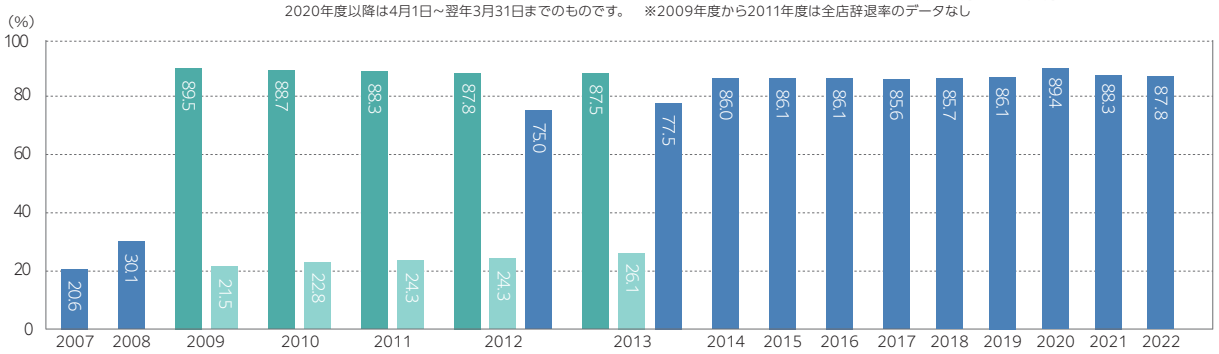


レジ袋辞退率の推移について

レジ袋辞退率の推移

■全店辞退率 ■有料化店舗 ■非有料化店舗

※データは2017年度までは2月21日～翌年2月20日まで、2018年度は2月21日～翌年2月28日まで、2019年度は3月1日～翌年2月29日まで、2020年度以降は4月1日～翌年3月31日までのものです。 ※2009年度から2011年度は全店辞退率のデータなし



容器包装とリサイクル　循環型社会

店頭リサイクル回収実績

※データは2017年度は2月21日～翌年2月20日まで、2018年度は2月21日～翌年2月28日まで、2019年度は3月1日～翌年2月29日まで、2020年度以降は4月1日～翌年3月31日までのものです。

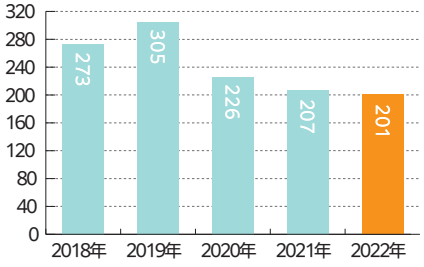
回収量

単位:(t)

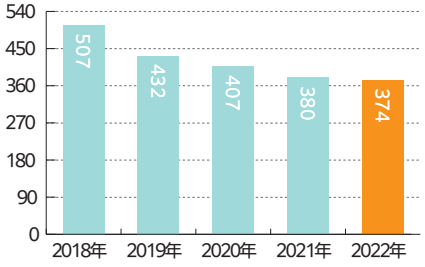
年度	2018	2019	2020	2021	2022
トレイ	273	305	226	207	201
牛乳パック	507	432	407	380	374
アルミ缶	675	618	621	603	609
ペットボトル	2,555	2,297	2,107	1,990	1,972
店舗数	182	157	143	136	134

※1種類以上回収している店舗数

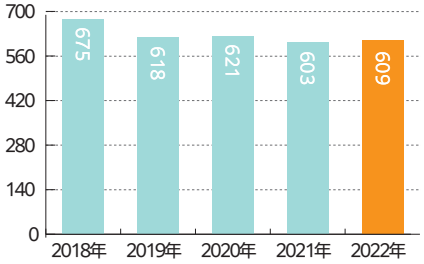
トレイ



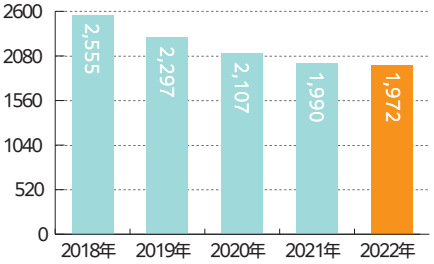
牛乳パック



アルミ缶



ペットボトル



食品リサイクルシステム　循環型社会

世界中で食品廃棄は大きな問題であり、日本では食料自給率が40%に満たないにもかかわらず、
毎日たくさんの食料を廃棄しています。ユニーでは、食品リサイクル法を遵守し、未利用食品を食品リサイクルループによる
地域循環型農業で利活用しています。

食品リサイクル実績

国への報告数値「再生利用等実施率」の2022年度の実績は88.9%でした。
小売業の目標である60%を大きく上回っています。

リサイクル実績

※データは4月1日～翌年3月31日までのものです。

	2020年度			2021年度			2022年度		
店舗から発生する食品廃棄物(未利用食品)	排出量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)	排出量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)	排出量(t)	リサイクル量(t)	リサイクル率(%)
生鮮食品の調理クズ(野菜・果物など)、消費期限・賞味期限切れや飲食の食べ残し	8,517	6,034	70.8	8,410	6,740	80.1	8,034	6,086	75.8
魚のアラ(魚介類の調理クズや頭・骨や皮など)	1,374	1,316	95.7	1,355	1,355	100.0	955	923	96.6
廃食用油(使用済み揚げ油)	870	870	100.0	779	779	100.0	695	695	100.0
てんかす	652	501	76.8	746	485	65.0	639	477	74.6
合計	11,413	8,721	76.4	11,290	9,359	82.9	10,323	8,181	79.3

※端数を四捨五入しているため、合計数値と一致しない場合があります

食品リサイクルの推移

※データは4月1日～翌年3月31日までのものです。

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
食品廃棄物発生量(t)	22,908	21,210	19,944	19,089	18,650	18,432	18,075	17,453	16,636	15,618	14,009	11,414	11,425	10,326
リサイクル量(t)	9,444	10,378	10,812	10,874	11,099	11,066	11,126	11,107	11,869	12,010	10,674	8,721	9,055	8,182
リサイクル率(%)	41.2	48.9	54.2	57.0	59.5	60.0	61.6	63.6	71.3	76.9	76.2	76.4	79.3	79.3
再生利用等実施率(%)※	48.9	59.0	64.1	66.5	69.6	69.7	72.9	74.9	80.6	85.1	84.8	86.6	87.9	88.9
食品廃棄物等の発生原単位(売上高百万円当りの発生量:kg)	39.0	35.6	34.7	34.2	32.8	33.0	31.3	30.4	29.9	28.4	28.2	25.0	25.77	23.6
発生原単位の対前年度比(%)	108.8	91.4	97.3	98.5	96.1	100.7	94.7	97.3	98.1	95.1	99.2	88.7	102.8	91.6

※当該年度の単純実施率に2007年度比の発生抑制を加味した値

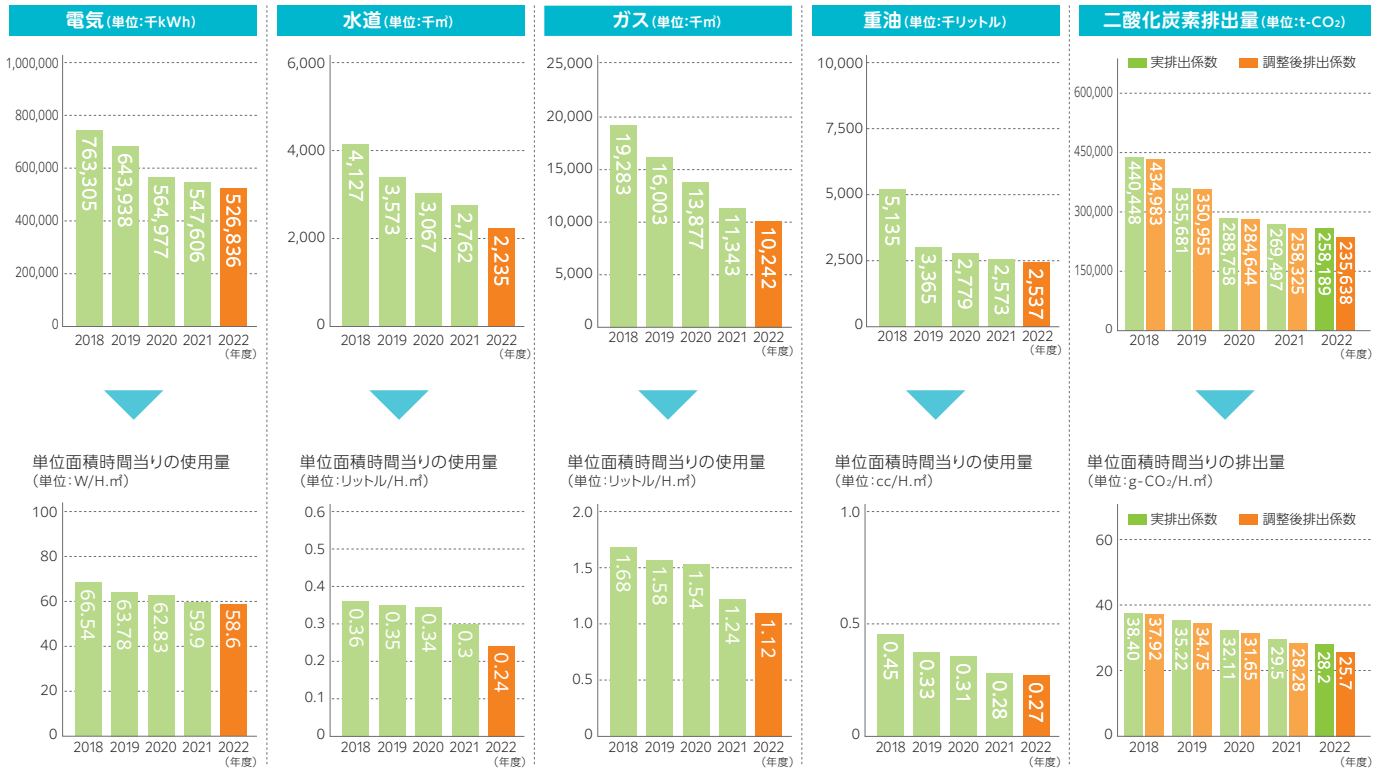
脱炭素社会

地球温暖化の原因となるCO2などの温室効果ガスの排出を防ぐため、日本は2030年度における削減目標を2013年度に比べ46%削減することをめざすことを表明しました。ユニーではお客さまと共に、普段のお買い物を通してCO2の削減について考えていきます。

省エネルギー・省資源活動

エネルギー使用量の推移

※データは2017年度は2月21日～翌年2月20日まで、2018年度は2月21日～翌年2月28日まで、2019年度は3月1日～翌年2月29日まで、2020年度以降は4月1日～翌年3月31日までのものです。
※エネルギー使用量は店舗合計の数値



2022年度のＣＯ２排出係数は下記より換算しました。
※環境省温室効果ガス排出量　算定･報告･公表制度のうち、電気事業者別ＣＯ２排出係数(令和4年度)

フロン排出抑制法への対応

地球温暖化とオゾン層破壊の原因になるフロンの排出抑制を目的に、フロン排出抑制法が2015年4月1日に施行されました。業務用エアコン、冷凍冷蔵機器の管理者に、機器およびフロン類の適切な管理が義務付けられました。

フロン類算定漏えい量 (t-CO2)

※データは2022年4月1日～2023年3月31日までのものです。

フロン類の種類	R-22	R-404A	R-410A	R-32	R-134a	その他混合冷媒	合計
2022年度	10,946	6,950	3,363	10	0	59	21,328